▼甲佐小学校に花壇を整備した宮内地区と甲佐地区の民生委員・児童委員

福祉奉仕活動に取り組む

甲佐町民生委員・児童委員協議会

甲佐町民生委員・児童委員協議会（緒方祐子会長）では、５月12日（土）の「民生委員・児童委員の日」に合わせて、５月を奉仕活動月間と定め、町内の学校や地域などにおいて各種奉仕活動に取り組みました。

民生委員とは、厚生労働大臣の委嘱により、地域での住民の相談や援助など社会福祉の増進に努める民間ボランティア。地域の子どもたちの見守りや健全育成、妊産婦に対しての子育てに関する相談や支援など、児童や妊産婦の福祉増進を図る活動を行う児童委員を兼任されています。同協議会は、本町の同委員など33人で構成されています。

５月24日（木）には宮内地区と甲佐地区の同委員11人が、甲佐小学校で子どもたちの健全育成に関する奉仕活動を実施。校内の中庭に花壇を整備して、同小の景観美化の充実に取り組みました。

また、ほかの地区の同委員も、各学校などにおいて、児童・生徒の登下校時でのあいさつ活動や見守り活動などの奉仕活動に取り組みました。

大井手川に咲く満開の花

岩下二区に色とりどりのショウブの花

岩下の大井手川沿いにあるショウブの花が、６月上旬に見ごろを迎えました。

このショウブは、昨年、花いっぱいのまちづくりを目指す岩下二区（田中康博区長96世帯）の区民によって西園橋から甲北橋の間に植えられ、白、黄色、紫など色とりどりのきれいな花を咲かせていました。

田中区長は「昨年は、梅雨の時期に川が増水したため、一部が流されてしまいました。今年は水害もなく、無事に見ごろを迎えることができて良かったです」と話しました。

▲大井手川に咲く色とりどりのショウブの花

◀人権問題などの相談に応じる人権擁護委員ら

身近なトラブルは相談を

人権擁護委員らによる人権相談所を開設

６月４日（月）町民センターで、人権擁護委員などによる無料人権相談所を開設しました。

同相談会は、毎月第１・３月曜日に町老人いこいの家で行われていますが、今回は６月１日（金）の人権擁護委員の日に合わせ、人権尊重思想の啓発活動の一環として、同相談会が全国一斉に行われることから、初めて町民センターで開催。同相談会では、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などをめぐる人権の問題や近隣トラブル、金銭トラブルなど、身近で起きるさまざまな問題についての相談に応じています。

当日は人権擁護委員、民生・児童委員、行政相談員が相談に応じたほか、弁護士による無料法律相談もありました。

本町の防災体制を協議

平成24年度町防災会議および水防協議会

6月4日（月）町生涯学習センターで、平成24年度町防災会議および水防協議会が開催されました。

同会議および協議会は、国、県、警察、消防、各種公共機関や団体などの関係者と防災について協議するために開催。町地域防災計画書および水防計画書に沿って、気象庁や国、県、町などが配信する災害情報などを携帯電話で受信できる「エリアメール」の活用や、自主防災組織の設立拡充などについて、今後の本町における防災への取り組みを協議しました。

▲町生涯学習センターで行われた防災会議と水防協議会

◀奥名町長らに牛乳を手渡す酪農組合女性部

お父さんに牛乳を贈ろう

「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーン

6月15日（金）上益城郡酪農組合女性部の5人が「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう」キャンペーンで、町役場を表敬訪問しました。

同キャンペーンは、母の日にカーネーションを贈るのに対して、父の日には定番のプレゼントがないことから、「父（ちち）」と「牛乳（ちち）」をかけて、家族のためにがんばるお父さんに牛乳を贈って応援しようという取り組み。牛乳の消費拡大運動の一環として、平成13年から行われています。

5人は奥名克美町長、師富省三副町長、赤星眞照町教育長に「牛乳をたくさん飲んで、これからも公務をがんばってください」とあいさつし、父の日用の特製容器に入った牛乳を手渡しました。

スポーツで心身を鍛えよう

甲佐町スポーツ教室を開催

▲片岡さんのきびきびとした指導の下、2人1組となって、のびのびと笑顔でウォーミングアップをする子どもたち

6月2日（土）甲佐小学校で、甲佐町スポーツ教室が開催されました。

小・中学生にスポーツの基本的な技能を習得させ、心身の鍛錬を図るとともに、児童生徒の親ぼくを深めることを目的に、町教育委員会が主催。陸上や柔道など、毎年さまざまな種目で行われています。

今年は、タレントの萩本欽一さんが創設した社会人野球クラブ「茨城ゴールデンゴールズ」の選手兼監督である片岡安祐美さん（熊本県出身）を講師に迎え、野球教室を開催。町内4小学校の児童72人と甲佐中生徒1人が参加しました。

子どもたちはウォーミングアップで体を温めた後、片岡さんのきびきびとした指導の下、投球動作の基本やバットの振り方などを真剣な表情で実践していました。

また、教室に先立って行われた講話で、片岡さんは「野球を続けていく中で、苦しいことや辛いことが出てくると思います。でも、野球の何が好きなのか、それぞれの思いがあるはず。その気持ちを忘れないで、壁を乗り越えてください」と話しました。